

暖かい日が続く、過ごしやすい桜の季節がやってきました。

旧暦4月は「卯月」と言われますが、この語源をご存知ですか。

卯の花(ウツギ)が咲く月「卯の花月」を略したという説や十二支の4番目が卯という説があるようです。さて、4月は新年度の最初の月でもあり、我が安芸津病院にも転勤などで新しいスタッフを迎えております。

職員一同、地域の皆様の健康と暮らしを支えるために頑張っていますので、引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。



新任職員紹介



社会福祉士
森 晶啓

県立広島病院より転勤してまいりました。私の役割は、患者さまが希望する生活の実現に向けて、療養上の様々な問題を解決していくお手伝いをすることです。1階の地域医療連携室で勤務しておりますので、ご心配ごとやお困りごとがありましたらいつでもご相談ください。どうぞよろしくお願いいたします。



作業療法士
酒井理紗

はじめまして。リハビリテーション科作業療法士(OT)で新規採用して頂き、また、初めての土地ということもありとても緊張していますが、一日でも早く慣れ、地域の方々が健康に自分らしく生活して頂けるお手伝いが少しでもできたらと思っています。精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

病院ボランティアへの感謝状贈呈

病院ボランティアの皆さまに感謝状贈呈式を行いました。

オレンジ色のエプロンを着けて正面玄関で総合案内を担当していただいていますので、病院をご利用になった際にお見かけされた方も多と思います。

ボランティアの方は、総合案内のほか、院内デイケアのお手伝いや患者さまへの読み聞かせなども担当してくださっています。

安芸津病院はボランティアや地域の皆さまに支えていただいていることを日々実感しておりますが、これからも地域に密着した病院となれるよう取組を進めてまいりますので、引き続きご支援をよろしくお願い申し上げます。



摂食・嚥下障害看護の取り組み

安芸津病院に来て12年目、認定看護師となり5年目を迎えました。私は「その人らしくを支える」をモットーに看護を行ってきました。その中で「口から食べる」「みんなと食卓を囲む」ことの重要性を感じ、摂食・嚥下障害看護に取り組み始めました。

摂食・嚥下障害とは「食べる」「飲み込む」ことが難しくなった状態のことです。原因は加齢や病気など様々で、それぞれが重なり合っていることも多いです。摂食・嚥下障害看護認定看護師の役割は、障害の原因や症状を読み取り、状態に合わせてケアや訓練方法、食事形態の提案を行ったり、実際に訓練やケアを行ったりすることです。積極的な訓練が困難な場合も多いですが「口から食べる」ことをあきらめず援助させていただきたいと考えています。

また、近年、加齢による筋力低下、いわゆるサルコペニアにより「食べる」「飲み込む」ことが困難になっている方が多くいらっしゃいます。皆さんはお肉やお魚を食べ、適度に運動されているでしょうか。全身の筋肉と同様に「食べる」「飲み込む」にかかわる筋肉も加齢とともに減っていきます。そして、歯科受診はされているでしょうか。口腔ケアや入れ歯の調整などお口の状態が整っていないと「食べる」ことが難しくなります。かかりつけ歯科医をもち、適度な運動と栄養摂取を行うことはとても大切です。

私自身、日々悩みながら看護をさせていただいています。悩みや疑問があれば一緒に考え解決していきたいと思っておりますのでお気軽にご相談ください。



4階病棟 摂食・嚥下障害看護認定看護師 井納加奈子

「C型慢性肝炎治療の進歩」

C型慢性肝炎は自然に治癒することはありません。治療を行わなかった場合、肝硬変や肝細胞癌に進行する恐れがあります。肝炎の進行を止めるためには、C型肝炎ウイルスを体から完全に排除する必要があります。以前はインターフェロンを使用して治療を行っていましたが、しかし、インターフェロンには副作用が多いことや、年齢や性別により効果に差があること、患者様によりインターフェロンの感受性に差があることなどの問題点がありました。そのため、インターフェロンによる治療を希望されない患者様も多くおられました。

平成26年秋から、インターフェロンを使用せずに、内服薬だけでC型慢性肝炎を治療することが可能になりました。ウイルスのタイプにより、1型では4種類、2型では2種類の治療法があります。内服期間は12週から24週です。治療薬に対する耐性変異ウイルスの有無、腎機能障害の有無、持病に対して使用している併用薬の有無などにより治療法を選択しています。インターフェロンに比較して、副作用は少なく使用しやすい薬剤です。ただ新薬であるため当院では慎重に治療を行っています。現在までに、

95%の患者様でC型肝炎ウイルスが陰性となっています。極めて有効な治療法と考えています。高額な治療ですが、国と県による医療費補助制度を利用しています。収入により変わりますが、月に一万円から二万円程度の自己負担で治療が可能です。是非病院にご相談ください。



内科主任部長
三浦敏夫

肝臓の専門医へご紹介ください
- 肝硬変 肝細胞がん 進行させない適切な治療 -

意外と身近! 約100人に1人がB型肝炎ウイルスに感染しているんだって。

HCVに感染している人は、日本では推定150万~200万人もいるんだって。

「早期検査」「専門医受診」「適切な治療」これが肝がん予防の第一歩!